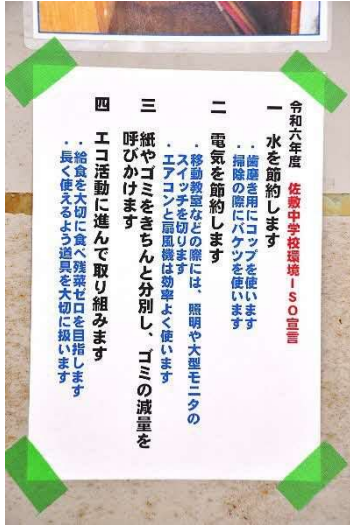




令和6年度（2024年度）学校版環境ISOへの取組

< 学校名：芦北町立佐敷中学校 >

2 取組の概要報告

(1) 取組の概要

項目	活動の様子(写真)	取組の実際
宣言	<p>生徒の宣言項目と数値目標</p> <p>1 水を節約します。(歯磨き用コップ及び掃除の際にバケツを使用する：他者と協力する態度) 2 電気を節約します。(移動教室などの際には、照明や大型モニタのスイッチを切る。エアコンと扇風機を効率よく使う：他者と協力する態度) 3 紙やゴミをきちんと分別し、ゴミの減量と呼びかけます。(多面的、総合的に考える力) 4 エコ活動に進んで取り組みます。(給食を大切に食べ残菜ゼロを目指す。長く使えるよう道具を大切に使う：多面的、総合的に考える力)</p>	
	<p>職員の宣言項目と数値目標</p> <p>1 両面印刷を心がけて、紙の消費を減らすことで、二酸化炭素排出量の削減と環境保全に努めます。(多面的、総合的に考える力) 2 O A機器の効率的な利用を心がけ、印刷を減らすことで紙の消費を減らし、併せて、電気を節約します。(他者と協力する態度) 3 紙やゴミをきちんと分別します。(多面的、総合的に考える力)</p>	
行動	  	<p>○歯磨きコップとバケツの使用 給食後の歯磨きでは、水を節約するためマイコップを使用している。掃除の時間は、バケツを使って掃除を行っている。また、活動を分かりやすくするために教室・廊下・特別教室など生徒の目に付くところに環境 ISO 宣言を掲示し、意識付けを行っている。</p> <p>○縦割り班による無言清掃</p> <p>1 縦割り班活動</p> <p>(1) 学年間のつながりの強化 (2) 上級生のリーダーシップの育成 (3) 佐敷中の一体感の高揚</p> <p>2 無言清掃</p> <p>(1) 気付く力 (2) 集中する力 (3) 我慢する力 (4) 奉仕の心 (5) 勤労の心</p> <p>新年度初めに、生徒集会を通じて環境美化委員会が全校生徒へ掃除ガイダンスを行った。縦割り掃除の目的・分担・方法や週末の反省会の方法を確認して無言清掃に取り組んだ。また、掃除当番の交代は二期制にして、一つの場所への取組に専念できるようにした。</p> <p>○無言清掃開始前の黙想 全校生徒が、掃除開始1分前に班ごと各掃除場所で黙想を行い、集中して無言清掃を行っている。また、週末の清掃終了後は、班ごとに反省会を行っている。</p> <p>○ゴミの分別と削減 ゴミ箱の設置を各階に1つだけにし、学年で排出するゴミの量を見える化してゴミの削減に努めている。ゴミステーションには、その他の分別回収用のゴミ箱を用意して分別をしている。</p>

		<p>○印刷室の整理整頓と裏紙の再利用（職員） 棚に種類別の見出しを設け、裏紙利用やリサイクル提供等をしやすくしている。また、在庫の用紙も一緒に置くことで利用できる紙の残量を見て意識できるようにしている。</p> <p>○朝ボランティア清掃 登校した生徒が自主的に外庭掃除を行っている。取り組んでいる姿を見て、同級生同士や上級生・下級生の輪が広がってきている。</p> <p>○ボランティア生け花 地域学校協働活動の一環として、地域のボランティアの方々に指導をいただいて環境美化委員の生徒が動いている。毎週月曜日の朝、生け花を各教室や玄関等に置き、学校生活に潤いと落ち着きを与えている。</p> <p>○一人一鉢運動 今年度も芦北高校農業科の協力のもと、一人一鉢の交流活動を行った。農業科の生徒から花苗の植え方や手入れについて説明を受けた後、鉢に植え込む活動を行った。正門周辺に置かれた鉢の横を通るたびに美しい花を見ることができ、豊かな心情の育成に役立っていると感じられる。環境美化委員を中心に水やりや手入れをしている。 ※これらの取組を学校だより、学年だより、HP で保護者や地域に周知した。</p>
記録		<p>○掃除活動反省カード・環境 I S Oチェックカード 自分たちの生活環境を整える掃除活動を、週末に振り返りカードでまとめるほか、学期ごとに環境 I S O 宣言への振り返りを行っている。環境美化委員が集計し、昼の放送で結果を発表することにより、環境について自らの働きかけが役立っていると手応えを感じられるようにしている。</p>
見直し		<p>○月に 1 回の専門委員会で、活動の振り返りと次の月の目標設定を行っている。良かった点と改善点を確認し、給食時の校内放送を通じて全校生徒へフィードバックしている。</p>

（２）成果と課題

成 果	課 題
<p>○水の節約に関しては、歯磨き用のコップを使用した歯磨きが定着している。掃除時のバケツ利用については縦割り掃除で上級生が新入生を指導し、定着してきている。</p> <p>○職員には裏面利用の紙・リサイクルへ提供する紙の振り分けや在庫の紙の様子を見てもらうことをとおして意識の向上を図った。また、職員会議の資料等は紙媒体ではなく PDF ファイルで提供していることも含め、電子媒体を使用する取組が定着し、紙の消費削減を進めることができた。</p> <p>○環境美化委員会の活動では、掃除がしやすいよう掃除道具の点検・補充をしたり、掃除後の状況のアンケートをとったりしてよりよく掃除ができるよう体制づくりを整えることができた。</p>	<p>○電気の使用量は、感染症予防対策で、冷暖房機器を使用しながら換気を行うため、増加傾向にある。そのため冷暖房機器の温度設定は教師が行い、室内の温度の平均化のため扇風機の活用も行っている。</p> <p>○環境 I S O 宣言による水や電気の節約については、学級で環境 I S O チェックを行い、環境美化委員長が定期的に結果を放送で全校生徒に伝えた。さらに、生徒への意識付けを行うためのチェックのあり方を見直す必要があると考えられる。</p> <p>○今後、現在行っている電気エネルギーと水利用についての周知のほか、地域の川・海・山などの自然環境に関する意識向上に向けての取組を行っていきたい。</p>

美化の面では、毎週月曜日の生け花のほかに一人一鉢運動の支援を行い、学校の生活環境の向上に努めることができた。	
--	--